

定例市長記者会見録

日 時：3月25日(火) 午前11時～11時30分

場 所：本庁舎6階 特別会議室

出席者：一 宮 市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、NHK、共同通信社

本日の案件は四つです。

1 番目は「マイナビ TGC in 大阪・関西万博 2025 で『尾州』の魅力を発信します」についてです。

大阪・関西万博が4月13日から始まりますが、その前段のオープニングイベントで、4月5日(土)にマイナビ TGC in 大阪・関西万博 2025 が開催されます。そこに地方創生プロジェクトステージというものがあり、尾州・一宮市の生地を使った催しで尾州をPRしていただくことになりました。このイベントは、4月5日(土)の午後1時から4時30分まで、EXPO メッセのWASSEをメイン会場に、ファッションショーやライブが実施されます。私自身も2年前にBISHU COLLECTION produced by TGCを真清田神社で開催した際に、事前に代々木体育館で開催されたTGCを拝見しましたが、大体10分から15分くらいのパフォーマンスがあり、その合間にスポンサーステージとしてコマーシャルのようなものが挿入されるというものでした。TGCですので、そのコマーシャルもファッションショーがメインになります。ファッションショーの中で地方創生プロジェクトステージがあり、TGCとお付き合いのある地方公共団体を中心に、2回ステージイベントを開催していただけることになりました。一宮市が参加するMade in JAPAN STAGE supported by REGIONAL SUPPORTERでは、地域が大切に守ってきた伝統工芸を取り上げます。尾州の生地を使った衣装を着たモデルさんに歩いていただきますので楽しみにしています。このステージでは他に、蒲郡市の「三河木綿」、福井県鯖江市の「眼鏡」がPRされます。もう一つ別のステージSustainable Action STAGEには、豊田市と山梨県甲府市が参加します。それぞれにとって良いPRにつながることを期待しています。

2 番目は「BISHU FES. ×TGC コラボ企画『新規デザイナー発掘プロジェクト』を開催します」についてです。

こちらもTGCとのコラボ企画で、メインはBISHU FES. です。一昨年はBISHU COLLECTION produced by TGCを開催し、昨年はTGCとのコラボ企画はありませんでしたが、今年はまた組もうということでこのプロジェクトを企画しました。このプロジェクトは、将来有望な若手のクリエイターに、ぜひ尾州のファンになっていただきたいという思いから実施するものです。募集期間は4月上旬から6月末までを予定しています。大学などの関係機関に声掛けをして、より多くの若者に参加していただきたいと思います。

今回の募集作品は、TGC とのコラボということで、レディース向けの未発表オリジナル作品を考えています。テーマは「紡ぐ、繋ぐ」です。時代を超えて尾州の昭和時代から栄えてきた地域の良さを、令和の時代に繋げていただけるよう期待しています。

4 月から 6 月までデザイン画を募集し、7 月上旬に一次審査を行います。一次審査を通過した方たちを対象に 7 月中旬に説明会として市内の繊維工場を見学していただき、そこで具体的に生地を選んでいただこうと考えています。11 月 8 日（土）の BISHU FES. 当日には、TGC の方にも審査員として入っていただき最終審査会を行い、グランプリ・準グランプリを決定します。2025 年度の冬頃に、愛知県が中心となって TGC が IG アリーナで開催されますので、その場でこの受賞作品を披露する予定で調整しています。ぜひ我こそはという若者が名乗りを上げていただければと期待しています。

昨年、劇場公開された映画「BISHU ～世界でいちばん優しい服～」の中で、一宮市が賞金 300 万円でデザイナー発掘プロジェクトをやる、というストーリーがありました。今回は賞金 300 万円には届きませんが、それでも TGC と組んでこれだけ大きな仕掛けができたということで、新しい才能を発掘できればと思います。

3 番目は「一宮七夕まつり 協賛と参加者を募集します」についてです。

一宮七夕まつりは今年第 70 回という節目の年で、「昭和 100 年」をコンセプトにして準備を進めています。その協賛の募集ということで、今回は例年より少し早く、4 月から応募を受け付けます。うちの協賛は一口 4 万円で 350 本作製し、会場などで配布します。応募していただくと、表面は七夕まつりのデザインで、裏面に協賛者が自由に広告を入れていただけるようになっています。締め切りが 5 月 9 日（金）で、予定の口数に達し次第受付終了となりますので、ぜひお早めにご応募いただければと思います。

次に TANABATA ダンスコンテストの参加者募集です。この企画も 10 年ほど続く恒例の行事となりました。10 年前の第 60 回の時にディズニーパレードを行いました。ただ見に来てもらうだけではなく地元の方も参加して盛り上げたいなということで、当時キッズダンサーを募集して、パレードと一緒に子どもたちにも踊ってもらいました。その後は、EXILE USA さんや荻野目洋子さんにお越しいただき、踊りに力を入れて取り組みました。この TANABATA ダンスコンテストも大変人気で、高いレベルで盛り上がっています。今年は「昭和 100 年の部」という新たな部門を追加しました。

そしてもう一つは、昭和歌謡のど自慢大会の参加者募集です。これも「昭和 100 年」をコンセプトにした新しい企画で、締め切りは 5 月 9 日（金）です。

4 番目は「令和 7 年 4 月 1 日付人事発令」についてです。

異動対象は 1,147 名で、市職員が全体で 4,000 名ほどいますので、約 4 分の 1 超が何らかの形で異動します。昨年と比べて 20 名の減少で、ほぼ例年通りの規模だと考えています。

今回の人事異動の主なポイントが五つありますので、順に説明します。

1 新しい時代に適した働き方改革

今回、定年年齢が62歳まで延長になります。60歳の職員は役職から外れますが、定年を延長するかどうかは各自の判断で選択します。60歳到達者の59名のうち、引き続き正規職員として勤務する人が42人、定年前再任用短時間という短い勤務時間を選んだ人が4人、60歳で辞めるという普通退職者が13人でした。

また、育児休業取得をさらに進めるために休業の取得で抜けたところにも正規職員の配置を継続するために、今年も8人の要員を確保しています。男性の育休も順調に増え、かつての取得率は1割程度でしたが、直近のデータでは男性の育休取得率は7割ほどになっています。この取り組みですぐに出生者が増えるわけではありませんが、子育て支援や子どもを育てやすい環境作りをこれからも進めたいと考えています。

2 事業推進体制見直しの主なもの

一つ目は、こども家庭センターの設置です。これは何か新しい建物を作るというわけではなく、これまで医療と福祉で縦割りになっていたところを一本化するというものです。窓口としてこども家庭センターに相談してもらえれば、子ども家庭相談課や健康支援課、各保健センター、保健所との連携の中で相談支援を一体的に実施していきます。二つ目が市長部局と消防・上下水道部との人事交流です。これまではどうしても縦割りが強かったのですが、市長部局と消防で1人ずつの人事交流を始めます。また、市長部局から上下水道部へ9人、上下水道部から市長部局へ8人の人事交流を行います。三つ目が市民病院の体制強化で、医師がより医療行為に集中できるように事務補助者がカルテの補助入力や検査の説明などを行う医師事務センターを設置します。

3 能登半島大地震被災自治体への長期の職員派遣

現在は、石川県珠洲市と富山県高岡市に各1人で計2人派遣していますが、さらに増やします。新年度4月からは中核市同士のお付き合いもある石川県金沢市にも職員を1人送り込み、計3人を派遣することになります。

4 一般財団法人地域活性化センターへ新たに職員を派遣

総務省の外郭団体である地域活性化センターへの派遣です。文部科学省への派遣と、総務省の外郭団体である自治総合センターへの派遣を今年度いっぱい辞め、新年度からは新しく地域活性化センターへ職員を派遣します。

5 公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会への職員を派遣

現在、1人を派遣していますが、新たに3人の追加派遣をします。大会はいよいよ来年に開催し、一宮市は人気のあるバドミントンの会場になりますので、楽しみにしています。

私からの説明は以上です。

質疑応答

■BISHU FES. ×TGC コラボ企画 「新規デザイナー発掘プロジェクト」を開催します

(記者) 7月中旬に「繊維工場の見学・生地購入など」が予定されていますが、これは繊維工場の生地を使って衣装を作るということですか？

(市長) そうです。一次審査の段階ではデザイン画だけで、まだ形になっていません。繊維工場で作られた生地を選んで、デザインを形にさせていただきます。現地で生地を見て、意見や要望を出していただくこともあるかもしれません。ぜひ、いろいろな形で交流をしていただきたいと思います。

(記者) 何社くらいの繊維会社に参加するか決まっていますか？

(職員) まだ決まっていません。尾州地域の生地が購入できる場所を選定しています。

■一宮七夕まつり 協賛と参加者を募集します

(記者) TANABATA ダンスコンテストで「昭和 100 年の部」を新しく作るということですが、これはどういうものですか？

(職員) 昭和らしさを表現したダンスを披露していただくもので、年齢制限はありません。

(市長) 昭和生まれでなくても大丈夫です。平成生まれの方でも、令和生まれのお子さまでも、参加していただけます。

(記者) 「昭和歌謡のど自慢大会」の狙いは何ですか？

(職員) 今回は「昭和 100 年」というコンセプトで七夕まつりを実施するため、昭和らしいイベントとして企画しました。こちらも特に年齢制限はありません。

(市長) この 2・3 年の傾向は、圧倒的に若者の参加が多くなっています。それはそれで嬉しいのですが、最近の夏の異常な暑さの影響で、高齢者の参加が減っています。一宮七夕まつりは市最大のイベントのため、老若男女に楽しんでもらえるよう、高齢の方も来ていただける企画になればという狙いがあります。暑くなるかもしれませんが、熱中症予防をしながら足を運んでいただきたいと思います。

■2025 年 4 月 1 日付人事発令

(記者) 市民病院の医師事務補助者については、診察室で医師のそばにいて検査の説明などを行うイメージですか？

(職員) まさにおっしゃる通りで、主に外来診察室での事務を予定しています。

(記者) カルテの補助入力などには、何か資格が要りますか？

(職員) 資格は必要ありませんが、医師事務補助者は専門知識が必要になるので、そのための教育を実施します。

また、現状では、医師事務補助者をすべての外来診療科に配置できないので、順次採用していく予定です。

(市長) 医師事務センターという名称ですが、建物などがあるわけではありません。医師事務補助者がいろいろ活躍できるように、タスクシフト、業務の移管を進めていく

ことになります。

(記者) 育児休業の取得促進について、通常要員にプラスして正規職員が 8 人配置されるということでしょうか？

(市長) そうです。各課の定員は決まっていますが、半年や 1 年の育児休業を取得することで欠員が出ます。従来は雇用形態が柔軟な会計年度任用職員を補充することが多かったのですが、正規職員を配置することで、育児休業を取得しやすい職場環境を実現します。

(記者) 男性の育休取得期間はどのくらいですか？

(職員) 育児休業を取得すると収入が減ることもあり、2 週間から 1 ヶ月以内の取得が多いです。